

# 結び

『関商工サッカー部での7年間』

サッカー部顧問 尾下翔太先生

## 1、はじめに

みなさん、こんにちは。関商工サッカー部で7年間顧問を務めさせていただきました、尾下翔太と申します。私はスポーツ経験がほとんどありません。しかし、教員になってからいろいろな運動部の顧問をさせていただく機会があり、部活動を通して今まで経験したことのない貴重な時間を過ごすことができました。そして今から7年前、「次は何部の顧問をやらせてもらえるのかな？」という期待と不安を胸に、この関商工高校へ転勤してきました。



## 2、サッカー部との出会い

転勤後、サッカー部の顧問になることを知りましたが、私にとっては未知の世界でした。基本的なルールもまったく分からず、部員も80名程いて名前を覚えるのに必死だった記憶があります。しかし、そんな私に当時の選手たちは気さくに話し掛けてくれて、戦術やフォーメーション、オフサイドなどのルールを教えてくれました。サッカーにも全力で取り組む彼らの姿を見て、少しでも関商工サッカー部の力になりたいと思い、ルールを覚えたり、彼らと一緒にトレーニングに参加したりしました。気が付けば1年が過ぎ、3年生は引退の時期を迎え、また新たな1年生が入学してきました。新チームの選手もやる気に満ち溢れ、さらに私も頑張ろうと奮い立ち…そんなことを繰り返しているうちにあっという間に7年間が過ぎてしまいました。楽しいことも辛いこともありましたが、このサッカー部での活動を通して、教員として大きく成長することができた実感しています。

### 3、審判を経験して

転勤した1年目に、私は当時の1年生と一緒に4級審判の試験を受けにいきました。その後、練習試合で審判をする機会に恵まれ、最終的には公式戦の審判をさせていただくこともできました。素人ながら数年間審判を経験して驚いたことは、細かなルールを正しく把握できていない選手が意外にも多くいるということです。どんなスポーツにおいても、ルールは重要です。ルールに反すれば罰せられますし、逆にルールの範囲であればどれだけでも自由にプレイすることができます。ルールを正しく把握することはプレイの幅を広げるチャンスだと思いますので、ぜひ意識をしてください。

### 4、関商工サッカー部の選手たちへ

今後の関商工サッカー部の選手たちに期待することは、どんなときでも絶対に「リスペクトの精神」を忘れないことです。サッカーの試合は自分1人では成立しません。同じチームの仲間がいて、相手チームの選手がいて、審判がいて、初めて試合は成立します。もっと言えば、チームの指導者、チームを作り上げてきた先輩、チームを引き継ぐ後輩、チームを応援してくれる地域の方々、日々の生活を支えてくれている保護者の方々…こういった多くの人たちのおかげで、君たちは思い切りサッカーがプレイできるのだということを、絶対に忘れないでください。この「リスペクトの精神」を持ちながら日々の練習に全力で取り組めば、必ず結果はついてくるはずです。

3年間という期間は決して長くはありません。限られた時間、限られた環境の中でどこまで自分を高めることができるか、精一杯チャレンジしてください。この4月から、別の高校へ転勤となりましたが、これからも関商工サッカー部を応援しています。

### ～さいごに～

関商工サッカー部の活動を通して、多くの方々と出会い、多くを学び、自身の成長につなげることができました。この7年間の、すべての出会いに感謝します。本当にありがとうございました。